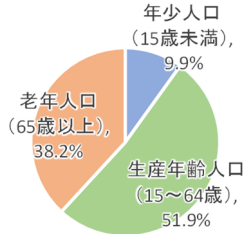


桐岡 (きりおか)

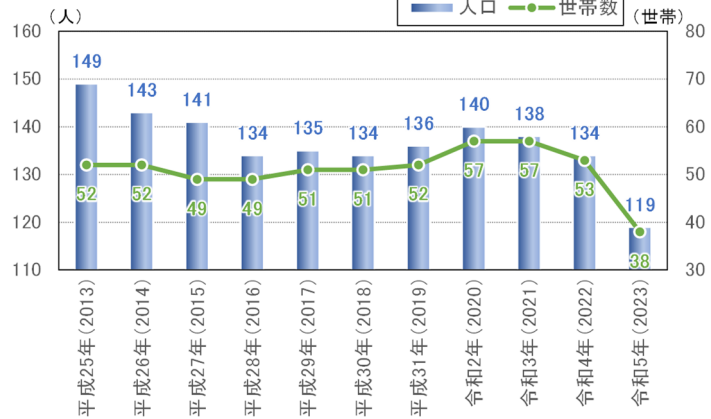
人口・世帯数等 (令和5年4月)

人口	119人
世帯数	38世帯
高齢化率	38.2%

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立地 集落の南側は盆地状に開けているが、北側は山が迫る。標高260mの高地に位置する。照来川南側から丹土に至る一帯は地すべり地帯である。

地名由来 桐に関係した地名とも考えられるが不明。(「たじま地名考」日本海新聞)

歴史等 言い伝えによると、集落の歴史は400年程前に始まるといわれ、当時戸数3戸であった。その後、周辺より住みついた者も含めて次第に増加していったという。

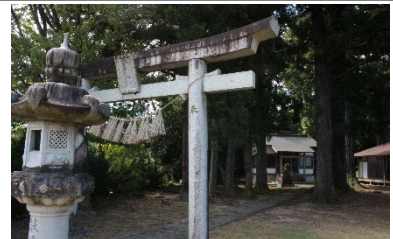
近世の桐岡村は、天正11年(1853)因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長6年(1601)同国若桜藩領、慶長10年(1605)旗本宮城氏知行、寛永20年(1643)幕府領、寛文8年(1668)からは豊岡藩領となった。天保5年(1834)の『但馬国郷帳』(天保郷帳)の村高は63石余。

明治22年(1889)照来村の大字となり、昭和29年(1954)からは温泉町の大字となる。明治24年(1891)の戸数29、人口は男76・女92。和牛飼育、葉タバコ栽培、養蚕などが盛んであった。

これまで把握している文化財

文化財の件数 31件 (うち指定等文化財 0件)

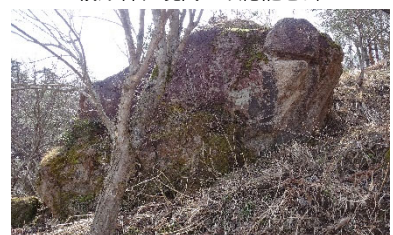
大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等			
有形文化財	建造物	建築物	0	11	0		
		石造物	0		0		
		工作物・その他の構造物	4		0		
	美術工芸品	彫刻	5		7	0	
		絵画	0			0	
		工芸品	2			0	
		書跡・典籍	0			0	
無形文化財		古文書・歴史資料・考古資料	0	1	0		
		音楽	1		0		
		演劇	0		0		
		工芸技術	0		0		
		その他の無形文化財	0		0		
		民俗文化財	信仰の場		1	12	0
		有形の民俗文化財	祭具		0		1
民具	0		0				
その他の有形の民俗文化財	0		0				
無形の民俗文化財	年中行事・民俗芸能	2	11	0			
	民俗技術	0		0			
	食文化	1		0			
	民間説話・俗信	8		0			
	その他の無形の民俗文化財	0		0			
記念物	遺跡	散布地・集落跡・生産遺跡	0	4	0		
		古墳・その他の墓	2		0		
		城館跡・寺社跡	0		0		
		街道・古道等	1		0		
		戦争遺跡	0		0		
	名勝地	その他の遺跡	1	6	0		
		山岳・高原・丘陵	0		0		
		海岸・海浜・島嶼	0		0		
		河川・滝・渓谷・湖沼	0		0		
		公園・庭園	0		0		
動物・植物・地質鉱物	動物	動物	0	2	0		
		植物	1		0		
		地質鉱物	1		0		
文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地		1	0			
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等		0	0			



前原神社



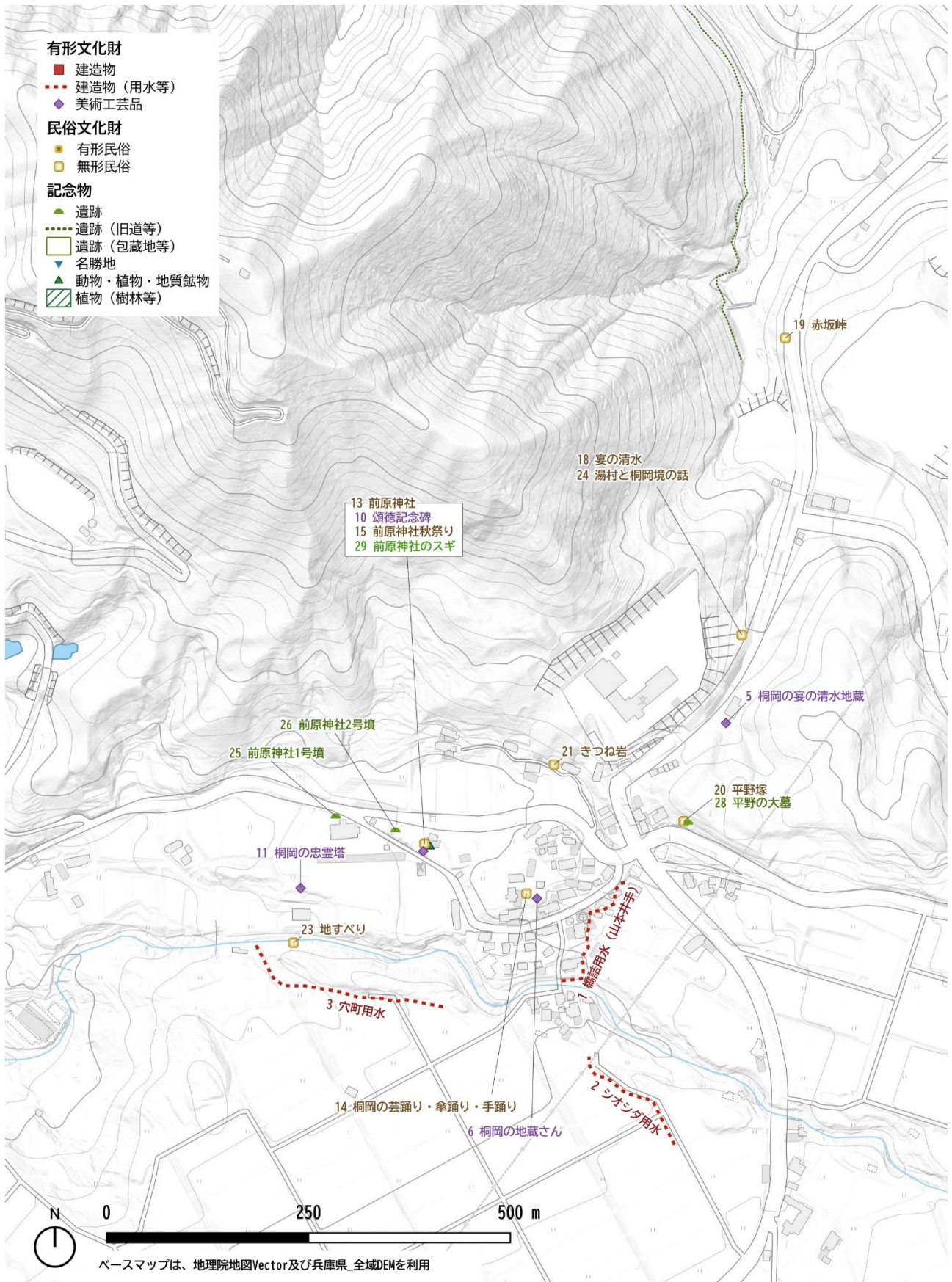
前原神社境内の頌徳記念碑



米かみ岩

※人口・世帯数は住民基本台帳(令和5年4月現在)による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

5-03 桐岡

文化財の一覧

■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
工作物・ その他の 構造物	1	橋詰用水（山本井手）	近代に築造された水路。水路延長 800m、灌漑面積 1.70ha。取入口は桐岡字橋詰、排水口は照来川。
	2	シオシダ用水	近世に築造された水路。水路延長 500m、灌漑面積 1.00ha。排水口は照来川。
	3	穴町用水	近世に築造された水路。水路延長 500m、灌漑面積 1.53ha。取入口は桐岡字湯田、排水口は照来川。
	4	中井手用水 （桐岡上・桐岡下井堰）	近代に築造された水路。水路延長 600m、灌漑面積 5.00ha。取入口は丹土向田、排水口は照来川。

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	5	桐岡の宴の清水地藏	120×40cmの石像。村のはずれ（桐木谷）にあり、近くに清水が湧き出ている。碑銘「文化川」。
	6	桐岡の地藏さん （1806年建立）	110×47cmの石像。村中央の清水の出る井戸の横に建てられている。碑銘は「文化三丙寅（1806）五月日 施主 當村惠隣」。
	7	桐岡薬師さんの伝教大師像	19×18cmの伝教大師坐像。塗りがはげ、像の一部が破損するなど傷みがはげしい。
	8	桐岡薬師さんの千手観音像	40×15cmの千手観音立像。塗りがはげ、像の一部が破損するなど傷みがはげしい。
	9	桐岡薬師さんの薬師像	30×20cmの薬師如来坐像。塗りがはげ、像の一部が破損するなど傷みがはげしい。
工芸品	10	前原神社境内の頌徳記念碑	前原神社境内に位置する。桐岡村について記された石碑。大正2年（1913）9月建立。
	11	桐岡の忠霊塔	昭和38年（1963）に現在地に移設。

■ 無形文化財

分類	番号	名称	概要
音楽	12	桐岡の嫁入り唄 （婿家に入る時の唄）	※『但馬二方の民間芸能』（昭和56年、大森恵子著、但馬民俗芸能研究会・浜坂町教育委員会発行）p150参照

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	13	前原神社	祭神は猿田彦命。一説には大己貴命又は手力男命ともいわれている。本殿・神体はなく、杉の大木を祀る。創立は不明。一名大力大明神ともいう。明治6年（1873）10月に村社となった。境内には稻荷神社（保食神）と、明治27年（1894）11月6日に同村須賀より移転した須賀神社（素戔鳴命）がある。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・ 民俗芸能	14	桐岡の芸踊り・傘踊り・手踊り	8月14日に改善センターで行われる。
	15	前原神社秋祭り	10月1日に前原神社で行われる。子供みこし。
食文化	16	ジャブ	鶏肉、糸こんにゃく、ごぼう、にんじん、玉ねぎ、豆腐などを鍋で煮た郷土料理。秋祭りに食べる。
民間説話・ 俗信	17	弁慶岩	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p291参照

分類	番号	名称	概要
民間説話・俗信	18	宴の清水	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p42 参照
	19	赤坂峠	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p48 参照
	20	平野塚	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p49 参照
	21	きつね岩	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p107 参照
	22	米かみ岩	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p159 参照
	23	地すべり	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p141 参照
	24	湯村と桐岡境の話	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p160 参照

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
古墳・その他の墓	25	前原神社1号墳	古墳時代の古墳。尾根沿いに5mの円墳を検出。
	26	前原神社2号墳	古墳時代の古墳。前原神社境内。
街道・古道等	27	桐岡・湯村を結ぶ古道	概要不明
その他の遺跡	28	平野の大墓	鎌倉時代の宝篋印塔。盛土内から経塚らしきものを出土した。消滅。

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	29	前原神社のスギ	前原神社のご神体の一つとして桐岡区民、氏子に厚く崇拝されてきた。樹齢500年以上と推定され、主幹が2本に分かれた巨木である。
地質鉱物	30	照来盆地	「照来米」「但馬牛」「照来清水」など、地質、地形、水質などの恩恵を受け、歴史、食などが豊富に存在する。

■ 文化的景観

分類	番号	名称	概要
生活・生業・風土により形成された景観地	31	照来盆地の棚田	地すべり地の緩斜面を利用して拓かれた棚田。

自治会の区域における歴史文化・文化財の記録作成等の取組

・『ふるさとの記録 きりおか』（昭和63年11月、桐岡区編集・発行）

